

2015年2月期 第3四半期 決算補足資料

イオンディライト株式会社 

2015年1月9日

- 建物の大型化・複合化傾向に加え、防災意識の高まりから総合FMS（ファシリティマネジメントサービス）へのニーズが高まり、第3四半期連結累計期間において、
5期連続増収増益、過去最高益を達成（売上高1,992億円、四半期純利益63億円）
- 連結売上高については、イオングループ内LED工事の一巡による建設施工事業で前年比を下回ったものの、**その他6事業では、前年比を上回った**
- 全事業における生産性向上に向けた継続的な取り組みと適切な経費コントロールにより、連結営業利益は、**前年同期比+3.0%の113億円**となり、四半期ベースでは、**過去最高益**

大型施設の堅調な受託拡大により、**5期連続増収増益、過去最高益を達成**

単位：億円

	2015年2月期 第3四半期実績					
	今期3Q実績	売上比 (%)	前年比 (%)	前年差	前期3Q実績	売上比 (%)
売上高	1,992	100.0	102.3	+44	1,948	100.0
営業利益	113	5.7	103.0	+3	109	5.6
経常利益	113	5.7	103.2	+3	109	5.6
当期純利益	63	3.2	110.0	+5	58	3.0

建設施工事業がイオングループ内LED工事の一巡により減収したものの、

その他、6事業は全て**前年同期比増**

単位:億円

	2015年2月期 3Q実績			2014年2月期 3Q実績	
	売上高	構成比 (%)	前年比 (%)	売上高	構成比 (%)
設備管理事業	344	17.3	105.3	326	16.8
清掃事業	330	16.6	104.3	316	16.3
警備事業	271	13.6	107.3	252	13.0
建設施工事業	323	16.2	85.0	380	19.5
資材事業	354	17.8	106.6	332	17.1
自販機事業	258	12.9	108.9	236	12.2
サポート事業	110	5.6	110.5	100	5.1

設備管理事業

大型商業施設の新店受託。BEMSを拡販。冷凍空調設備一元管理に向け、冷媒フロン類取扱技術者の育成を強化(400名超を全国に配置)

清掃事業

現場単位の小集団活動を「働きやすさ追求活動」として導入。更なる品質・生産性向上を図るための仕組みを構築

警備事業

従来の施設内警備に館内インフォメーションなどの接客サービスを加えたアテンダーの導入を促進。国内外で高評価

建設施工事業

イオングループ内のLED化工事は一巡。大型の活性化工事等は大幅に拡大。維持修繕工事も堅調に受託

資材関連事業

新規/既存顧客いずれも順調に取引を拡大。物流コスト見直しや電子商談による収益性改善に向けた取り組みを継続して実施

自販機事業

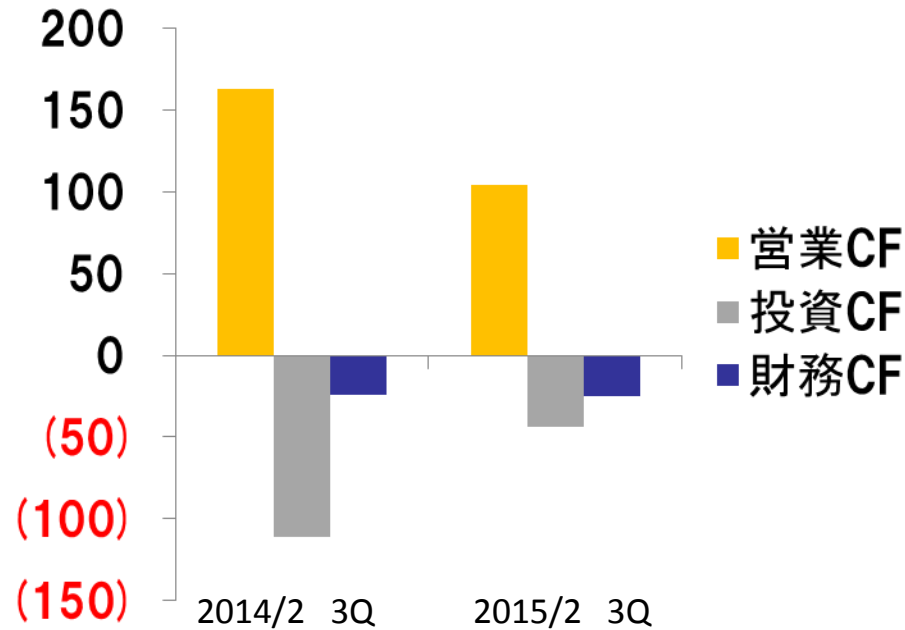
前期に開発・設置した自動販売機が売上寄与、デジタルサイネージ型をはじめとした付加価値自販機を展開

サポート事業

イオンコンパスのイベント通販事業や、カジタクの家事代行サービス「家事玄人」の拡販(前年同期比 151.2%)を推進

単位：億円

	2014年 2月28日	2014年 11月30日	増減額		2014年 2月28日	2014年 11月30日	増減額
流動資産	903	996	92	流動負債	393	449	56
固定資産	217	215	△2	固定負債	15	13	△1
有形固定資産	42	44	1	負債合計	408	462	54
無形固定資産	116	113	△3				
投資等	58	57	△0	純資産合計	713	749	36
資産合計	1,121	1,211	90	負債・純資産合計	1,121	1,211	90



	2014/2 3Q 累計	2015/2 3Q 累計	増減
営業活動キャッシュ・フロー	163	104	△58
投資活動キャッシュ・フロー	△111	△44	67
財務活動キャッシュ・フロー	△24	△25	△1
現金及び現金同等物の 四半期末残高	124	154	30

主な増減要因

単位: 億円

【 営業活動 C F 】 104億円

税引前当期純利益	112億円
売上債権の増減額(△は増)	△43億円
仕入債務の増減額(△は減)	47億円

【 投資活動 C F 】 △44億円

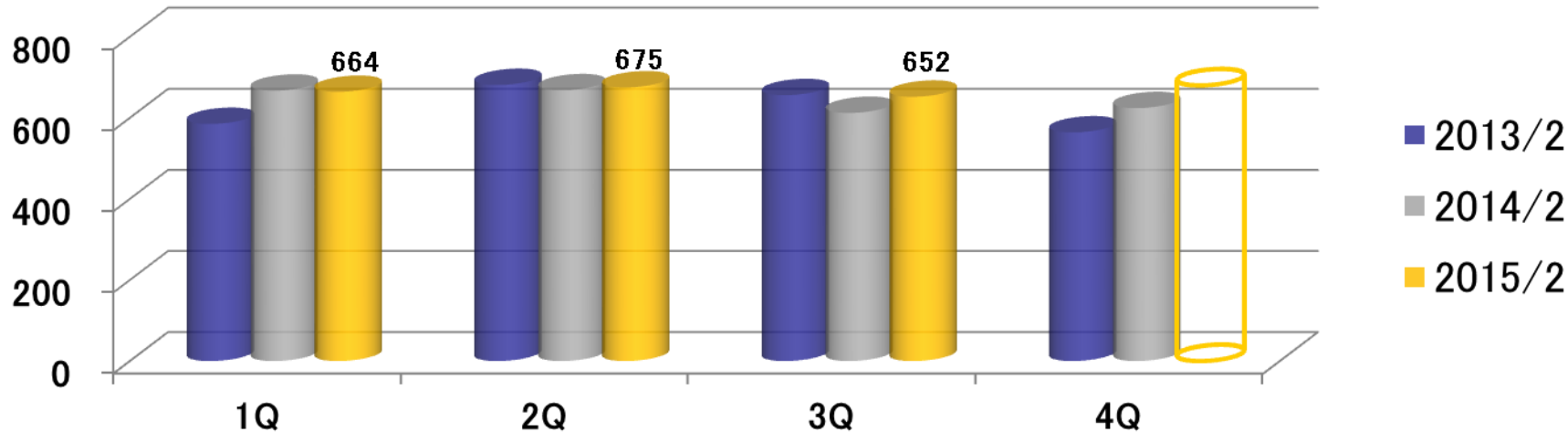
関係会社消費寄託による支出	△1647億円
関係会社消費寄託返還収入	1621億円

【 財務活動 C F 】 △25億円

支払配当金	△25億円
-------	-------

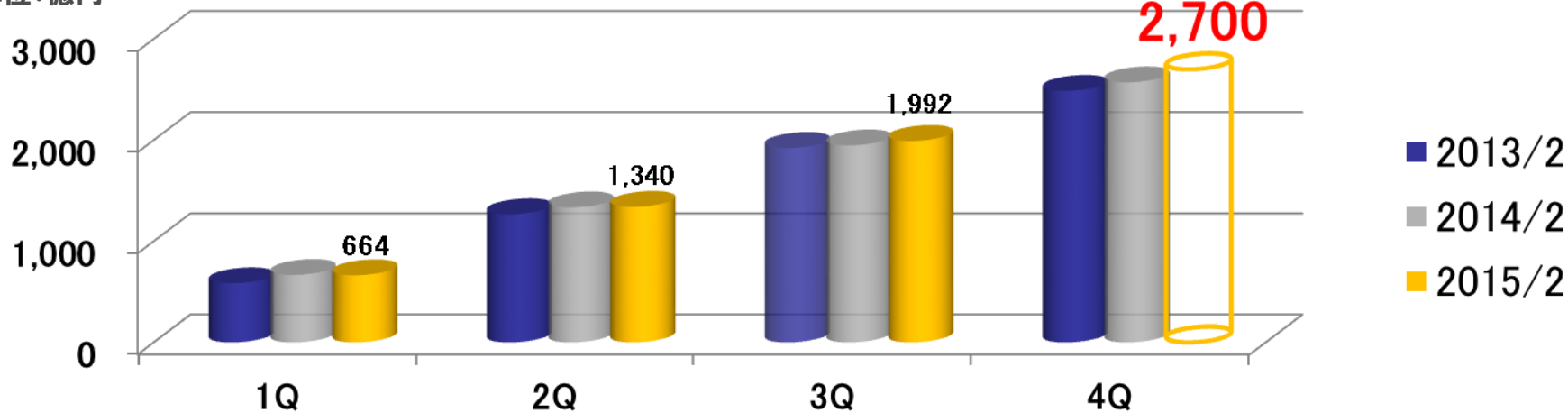
四半期 期間売上高推移

単位:億円



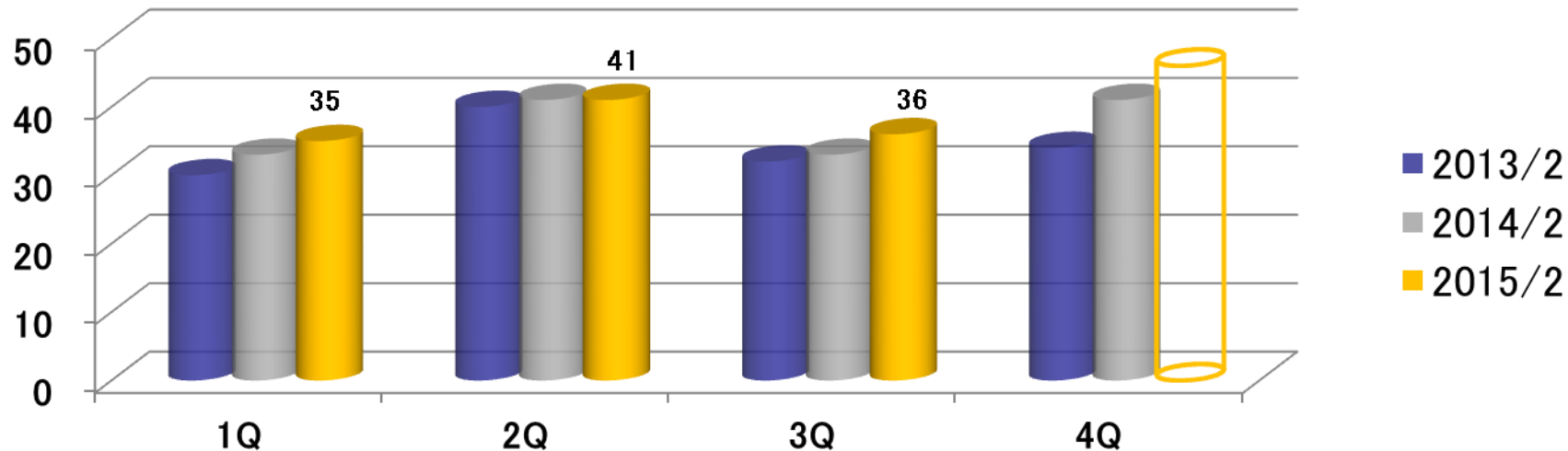
四半期 累計売上高推移

単位:億円



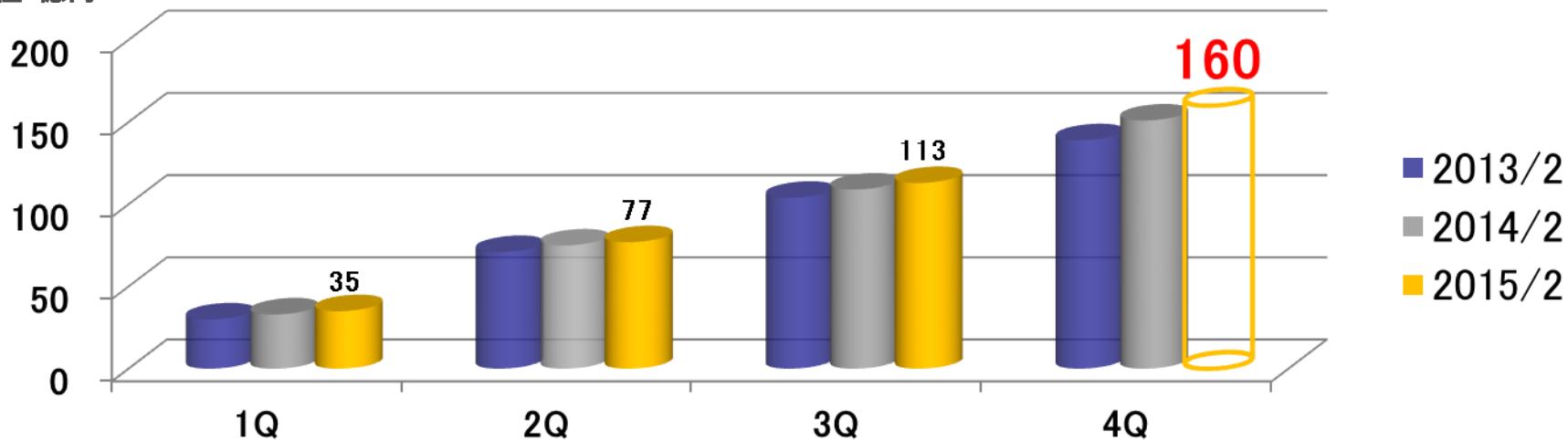
四半期 期間営業利益推移

単位：億円



四半期 累計営業利益推移

単位：億円



アジアでイオングループ外大型施設をターゲットに総合FMSを拡大
生産性の向上により清掃事業を中心に**収益性を改善**

～2015/2期 3Q

4Q以降

成長に向けた取り組み

<p>新規大型施設の獲得</p>	<p>イオングループ外新規大型施設の受託を 堅調に拡大 → 多種多様な施設にサービスを提供</p>	<p>サービスメニューの総合性や組織力(人材・ ネットワーク)を強みにターゲットを絞り込み、 営業を推進</p>
<p>アジアでの営業拡大</p>	<p>中国・アセアンで総合FMS事業を拡大 ・累計受託物件数(前年同期増減) 中国148件(14件増)、マレーシア118件 (79件増)、ベトナム76件(55件増)</p>	<p>中国・・・マネジメントの効率化とガバナンスの 強化を目的に体制を再構築 アセアン・・・マレーシアにおける省エネ事業 への取り組み推進。サービス提供先の更なる 拡大により単年度黒字化を目指す</p>

収益性改善に向けた取り組み

<p>清掃業務の標準化と 原価低減</p>	<p>・直営センターの業務標準化(新作業手法、5S などの工夫)により生産性を向上、パートナー企 業へのノウハウ展開 → 売上総利益率の改善</p>	<p>「働きやすさ追求活動」として小集団活動を 本格開始。現場従業員が主体的に業務改善 に取り組むことができる仕組みの構築により、 品質、生産性の更なる向上を図る → 清掃事業でモデルを構築することで、 その他事業への随時展開を検討</p>
----------------------------------	---	---

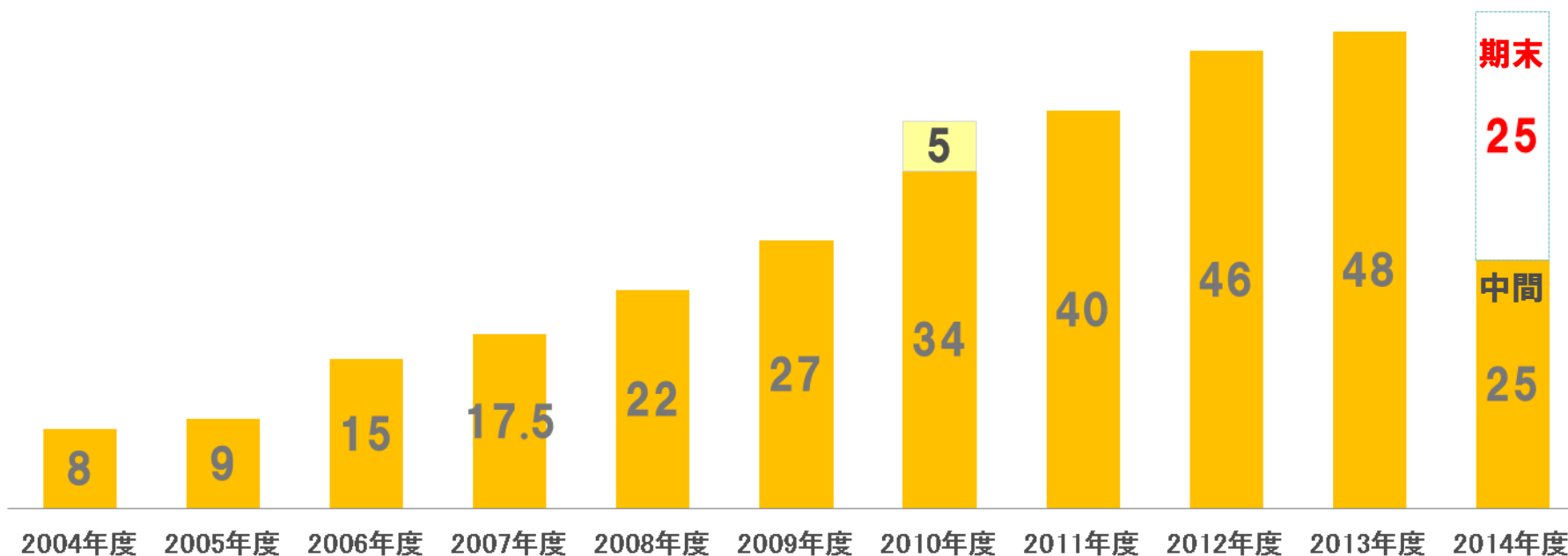
単位:億円

	2015年2月期通期予想			2014年2月期実績	
	金額	売上比 (%)	前年比 (%)	金額 (実績)	売上比 (%)
売上高	2,700	100.0	105.0	2,572	100.0
営業利益	160	5.9	105.9	151	5.9
経常利益	160	5.9	106.0	150	5.9
当期純利益	86	3.2	105.4	81	3.2

2005年度以降10期連続の増配を目指します

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
配当額	8.0円	9.0円	15.0円	17.5円	22.0円	27.0円	39.0円	40.0円	46.0円	48.0円	50.0円

□ 配当予想 ■ 記念配当 ■ 配当金



※ 当社は2007年12月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。2004年度期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の配当金額です。

※ 2010年度の期末配当には、記念配当5.00円を含んでおります。

■ この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。

- ◇ これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定にもとづく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

■ 資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。

- ◇ 全て連結を対象として記載
- ◇ 記載金額は億円未満を切り捨て
- ◇ 比率は小数点第2位を四捨五入

イオンディライト株式会社
(証券コード:9787)

IR担当連絡先 部署名:グループ戦略本部
責任者名: 高橋(タカハシ)
TEL 043-351-2563

又は、ホームページよりお問い合わせください。
<http://www.aeondelight.co.jp>

本日、ご説明した内容につきましては発表日当日(2015年1月9日)に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。